

③悪路条件

一般的な道路維持管理の状態が生じると想定される悪路を含むことを経路選定条件の一つとした。

舗装路面の維持管理においては、「道路維持修繕要項」(昭和 53 年 日本道路協会)に示される維持修繕要否判断の目標値(表-2.3.2)が参考とされている。

表-2.3.2 維持修繕要否判断の目標値

	わだち掘れ および ラベリング (mm)	段差 (mm)		すべり 摩擦係数	縦断方向の 凹凸 (mm)	ひびわれ率 (%)	ポット ホール径 (cm)
		橋	管渠				
自動車専用道路	25	20	30	0.25	8m プロファイル 90(RrI) 3m プロファイル 3.5(σ)	20	20
交通量の多い 一般道路	30 ~ 40	30	40	0.25	3m プロファイル 4.0 ~ 5.0(σ)	30 ~ 40	20

本研究では走行中の車両運動と動的な軸重変化に着目するため、表-2.3.2 の指標のうち段差と縦断方向の凹凸が関係するが、表-2.3.1 に示すように選定した基本計測区間は路面凹凸量の標準偏差である平坦性で 5cm を超える値となっているものが含まれており、一般的な維持管理下で生じうる悪路条件も含んでいると判断できる。